

令和5年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	鳥屋野交通公園		
管 理 者 名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
新潟市主管課	中央区役所建設課		
所 在 地	中央区女池南3丁目6番4号		
根 拠 法 令	都市公園法		
設 置 条 例	新潟市都市公園条例		
施 設 概 要	敷地 14,000㎡(全体) ゴーカート, 蒸気機関車・消防自動車・路線バスの展示 など		

施 設 設 置 目 的
ゴーカート等を利用し交通ルールを学べる施設及び交通公園として設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 , 方 針 等
(1)新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、都市公園の健全な発達を図り、公共の福祉の増進に資する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	提供サービスの情報発信	市報等を活用した情報発信 年2回以上	市報にゴーカート情報を掲載、子育て支援雑誌・サイト「とぎっこクラブ」に情報掲載、NHKにスタッフ出演	B	
	施設利用度	年間利用台数 44,000回以上	33,079回	C	目標を下回った
	自主事業の実施	設置目的に合致した自主事業を2回以上実施	ニビイ会員対象のゴーカート乗車クーポン券対応、ドリームカー運行、自動販売機の設置、ウエルカムフラワーの設置、ストライダーレンタルサービスの実施、全国交通安全運動PR、ガチャガチャの設置	A	目標を大きく上回った
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望について7営業日以内に回答	要望1件に対して、7日以内に回答した	B	
財 務	利用1台あたりのコスト削減	利用1台あたりコストを300円以下	368.4円/台	C	目標を下回った
	本市の収入	ゴーカート使用料550万円以上	4,273,510円	C	目標を下回った
業 務	事件・事故発生時の対応の適切さ	人身事故 補償を伴う事故発生件数0件	事故発生なし	B	
	指定管理者制度の理解	公の施設の管理を行うにあたり必要と思われる研修の受講者数 年1人1回以上	施設業務掌握研修、接遇・マナー研修	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書に定める基準に基づき、施設管理業務を実施	B	
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	各種研修の実施件数 年3回以上 (交通指導等)	ハラスメント研修、救急対応研修、防災研修などを実施	B	

【評価基準】 A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている B: 要求水準(評価指標)が達成されている C: 要求水準(評価指標)が達成されていない ※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていな
--

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等) R6.1.1能登半島沖地震発生直後に、スタッフが身の安全を確保した上で、施設の被害状況および園内の安全確認を行ったことにより、危険個所の安全対策や公園の封鎖、水道管破裂の発見など、迅速な対応と二次被害の防止につなげることができた。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見) 利用台数や使用料収入が目標を下回った。 地震による影響で当面の間ゴーカート及び公園施設が運用停止となるが、運用停止期間中にも広報や再開後の事業実施について検討し、再開後の利用者増に向けて取り組まれない。
